

報告



# 「スクゥスクゥの森」里山整備 10月26日(日)

## ～山桜」救出・「林分」保全・散策道の雑木伐採 他～

10月例会

参加：会員 27名・育成講座 31名(職員 2名含む)・一般3名：総勢 61名



■三日前の天気予報では、当日は昼過ぎまで雨予報で大変心配しておりましたが、早朝に雨がやみ何とか実施することができました。

今回は育成講座生 29 名等、初参加者が多かったので朝のミーティングで今までの経緯の説明と活動の目的や注意事項を確認し 4 班に別れてそれぞれの担当エリアに移動しました。

**1班**は、梅の木周辺の日当たり改善するためアラカシ、竹等を伐採し、一部の材は 4 班の階段造りの材料としました。よい材が多く取れました。チェーンソー取扱い研修にもなり、かなり上達したようです。梅の木周辺日当たり良好。

**2班**は、山道脇のコナラの枯れ木を 3 本伐採。道の脇に乱雑に置かれていた古い枝木や倒木を整理し、きれいに棚積みしました。斜面に倒して放置したままの材もなくなり、手の入った山との印象が色濃く残ったかと思います。

**3班**は桜の木に絡んだコナラを 3 年目にしてやっと倒せました。ロープで引っ張りながら安全確保しつつ作業し、皆大いに勉強になりました。他に 3 本枯木伐倒、また合間を見て山地さんの指導でロープワークの研修実施。貴重な体験となりました。

**4班**は育成講座生が 2 グループに分れて山道の階段作り、山道付近の整備作業を実施。階段を作る作業は、なかなか体験できることが無いので皆さん真剣に取組み、実り多き研修となりました。

お昼は地元の方々により栗飯のむすび、猪肉入り具沢山の味噌汁、絶品シカ肉のワイン煮、各種地元野菜料理など盛沢山。里山の味覚、秋の恵みを美味しく頂きました。今回は育成講座生が多数参加し、もりメイト倶楽部の活動を知ってもらうことができ大変有意義な例会となりました。

今後も継続して安全第一で取り組んでまいります。

【5班 班長 高橋 清志】





朝のミーティング。一日のスタートは念入りに



階段作りに励む受講生



桜に絡んだコナラ伐倒



ロープワーク練習中



妙國寺ご住職と高橋班長



山本理事長の説明を受ける受講生



斜面の倒木もきれいに片付けました